

金属部会C P D技術セミナー 歴史に学ぶ金属学

技術セミナー開催のご案内

清水記念歴史金属学4 2026年11月15日（日）

座長：田中和明

セミナー会費：500円

金属の歴史は、技術の歴史です。今回金属の歴史に造詣の深い演者による自由な発想で金属を語ります。今回から故清水特別顧問を冠した清水記念歴史金属学に模様変えしてお送りします。

第1講13:00-若井一顕氏（電子・電気部会） 「放送技術と金属―材料から読み解く放送100年―」

放送100年の歩みは、電波技術を陰で支えてきた金属材料の歴史でもあります。本講演では、銅・銀・金・鉄・アルミ、レアメタル、フェライト、セラミックの特性と役割を、アンテナ、鉄塔、給電線、接点、送信機などの具体例から読み解きます。さらに、表皮効果、反射、接地、腐食、放熱・冷却、ダミー抵抗の故障と保守を取り上げ、電気・磁気・熱・機械強度・信頼性を結ぶ「材料と境界」の視点から、放送設備の過去・現在・未来を考えます。

第2講14:00- 衣川良介 氏「アンカーチェーン製造法の歴史と各種 チェーンの使用例の画像」

ロイド船級協会の資料（1938-39）による、当時の代表的なアンカーチェーンの製造法は鍛接以外に4種類ありました。その方法の簡単な解説と、吊具等に使われた歴史的に古いチェーンの使用例や画像をご紹介します。2009年に開設した『鉄のふしぎ博物館』の展示品の一部、ストロマトライトや縞状鉄鋤床や隕石、隕鉄などの紹介をします。

第3講15:00-田中和明（金属部会長）「マイケル：世界が彼をファラ デーと認識する前の物語」

和鐵のライフワークになりつつある、マイケル・ファラデーの金属学。2026年出版の「ファラデーの錆びない鉄」を英訳して9月にロンドンの王立研究所に寄贈しに行き、そこでまた新たな出会いが生まれました。若き日のファラデーの大冒険と彼を支えるレジェンドたちの織りなす金属歴史絵巻物を楽しんでください。

第4講15:30-田中和明氏（金属部会長）「プラチナの歴史（2）」故 清水特別顧問の残された講演を引き継いで

2026年3月にご逝去された清水先生は、直前の歴史金属学でプラチナの歴史を講義され、今年も続きの講演を切望されていました。先生のご意志を注ぎ、部会長後輩の和鐵が、浅学非才を顧みず講義継続に挑みます。先生が語ろうとされていたプラチナの歴史とは何か、その行き着く先を毎年楽しんでください。

歴史金属学シリーズについて

歴史金属学シリーズは、金属の面白さを広く皆様にお伝えするべく、自由な表現、自由な発想で回を重ねてきました。講師も、民間研究家や刀研ぎ師、そして鉄の芸術家と幅広いジャンルからお招きしています。毎回、強烈な印象を与える講師陣は、金属部会セミナーでしかなかなか出会えない方々です。この機会をお見逃しなく。

■主催 日本技術士会金属部会